

# (A)の例

- 小テストを毎回している
  - 新聞記事の紹介等，身近な例をとりあげる
  - 配布資料を授業後もダウンロードできるようにしている
  - できるだけ早く名前を覚える
  - グループワークを課している
  - 学生と飲み会を頻繁に行っている
  - 授業開始・終了時間を厳守している
  - 授業の冒頭に前回の復習を行う
  - 学業に限らず学生の相談にのっている
  - 最新の研究動向を積極的に紹介している
  - 板書をとらせている
- など

# 付箋のグループ分け

付箋を一枚手にとり、

「なぜこのようなことをしているのか」

について考えてください。その際、

「なぜ自分にとってこれが大切なのか」

「なぜ学生にとってこれが大切なのか」

「学生にどう成長してほしいのか」

「専門の学問をどのようにとらえているのか」

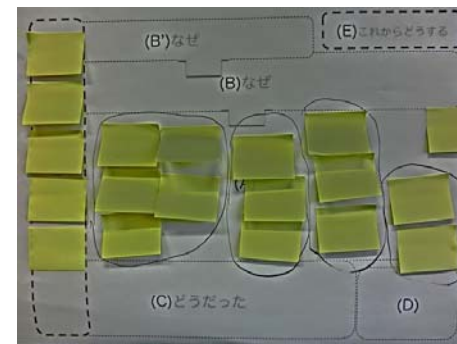
といった観点から考えてみるとよいでしょう。

## 付箋のグループ分け

他の付箋についても同じことを行い、似ている考えから行っている付箋をグループにしていってください。

グループはいくつになってもかまいませんが2つ以上みつけてください。

グループは線で囲み  
(A) に整列して貼ってください。



## (C)の例

- 授業評価の評価が高い
- 学生が教育の成果を生かせる就職をした
- 学生が教育の成果を活かした進学先を選んだ
- 学生の学修の成果があがっている
- 卒業生との継続的な交流がある
- 学生が研究を学会で発表した
- ベスト・ティーチャー賞の受賞
- 同僚教員からの高い評価

# エビデンスの例 (A)

- 授業評価の対応項目／コメント
- 配布資料の現物
- ウェブサイトのスクリーンショット
- グループワーク課題資料
- 講義ノート
- 学生からのお礼の手紙／メール
- パワーポイント資料
- シラバス
- 学生から提出されたレポート
- 授業の様子の写真
- 試験問題
- 学生の研究発表原稿

# エビデンスの例 (C)

- 授業評価の項目／コメント
- 優秀なレポート
- 学生の進路
- 学生からのメール／手紙
- 学生の研究発表
- 学生の受賞
- 同僚教員の評価
- 上司の評価